

みんなの健康ラジオ

『蕁麻疹についてもっと知ろう』

(2023年7月20日放送)

横浜市皮膚科医会

ひぎりやま皮ふ科

高橋 さなみ

蕁麻疹と血管性浮腫



13歳、男子



5歳、男児

蕁麻疹の病型

(複数の病型が混在している場合もある)

I 特発性の蕁麻疹(全体の70%以上)

特定の刺激によらず自発的に膨疹の出没を繰り返す

急性蕁麻疹 発症後6週間以内

慢性蕁麻疹 発症後6週間以上

II 刺激誘発型の蕁麻疹(全体の30%以下)

特定刺激や負荷により皮疹が誘発される蕁麻疹

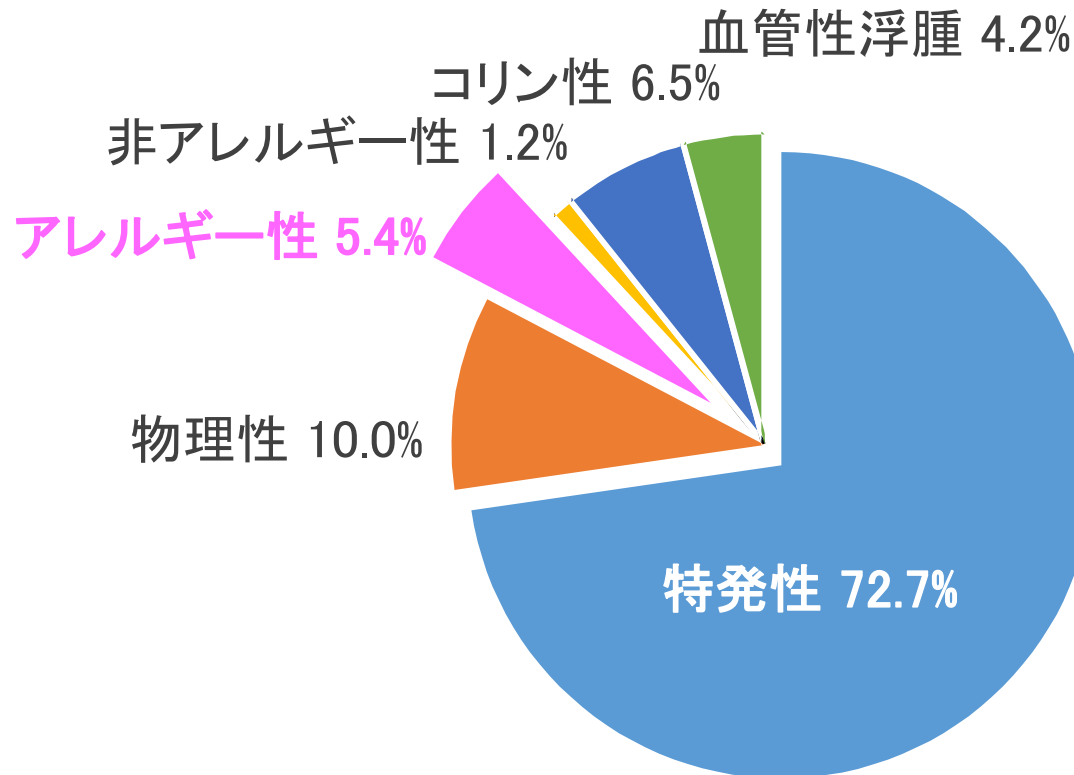
アレルギー性のもの(全体の約5%)

非アレルギー性のもの ほか

III 血管浮腫、蕁麻疹類縁疾患

蕁麻疹の病型別の割合

(複数の病型が混在している場合もある)



■ 特発性 ■ 物理性 ■ アレルギー性 ■ 非アレルギー性 ■ コリン性 ■ 血管性浮腫

田中稔彦, ほか. アレルギー55(2), 134-139, 2006
より一部改変

特発性の蕁麻疹

- 急性蕁麻疹(発症後6週間以内)
 - 症状が激しくさらに背景として何らかの感染症を疑うときはその精査も行うことがある。
- 慢性蕁麻疹(発症後6週間以上)
 - 自己免疫性疾患などが併存している場合もあるが、基礎疾患が見いだせない症例も多い。
 - 報告者により異なるものの、無治療で治癒するまでの期間は数か月から数年にわたることもある。
- 未だ病態については不明な点も多い。